

キッチンのリフォーム



かつてキッチンの間取りは、北側の暗いところに配置されることが一般的でした。現在キッチンには、家族皆で使える存在として「D」の主役になるお宅も多く、家族のコミュニケーションをとる重要な場所に変化しています。今回は住む人の暮らしに合わせて使いやすく・明るくなったリフォーム事例を紹介します。

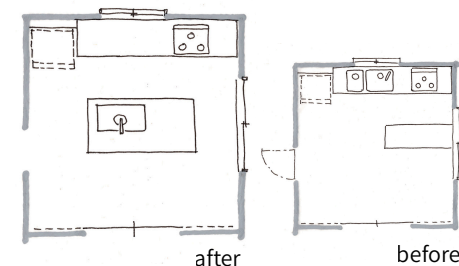
case 1

H様邸

薬膳の会を開くための作業性に優れたキッチン



after



after

before



before

【STORY】

H様は、長年調剤薬局で勤務をしておられましたが、薬膳の考え方に魅了され脱サラ。薬膳理論を学び薬膳フードデザイナーの資格を取得されました。ご自宅のキッチン进行リフォームし、薬膳のお話と実際のお料理を供する念願の「薬膳の会」を開かれることになりました。



【設計の概要】

大きなシンクのあるカウンターをダイニングの真ん中に設置し、多人数でも作業しやすいキッチンに。既存の壁のタイルは生かし、不足分はモザイクタイルでアクセント。全体の色味をグレイジュカラーにまとめ、すっきりとした印象になりました。波佐見焼のシェード（照明器具）が空間を柔らかく照らします。

実際に薬膳の会を開催！



お母様とキッチンに立たれても広々！

リフォームしてみても

H様より

女性の設計事務所ということで女性の目線を期待してサンクさんに依頼しました。気の合う仲間と薬膳や健康について語ったり、お料理をする会を自宅でやりたくてキッチン进行リフォームしました。対面キッチンにして作業する場所が増えて料理するのがとても楽しく、作業効率も良くなっています。複数で手分けしてお料理するのも楽しくなりました。

そんなH様の気になる活動はこちらでも！



参加者の方にもご好評の薬膳料理。



中野区のシェアキッチン「エカイエ」では米粉の野菜ケーキを提供しています。※エカイエ…不定期営業 2026年8月までオープン



間仕切りを開けたところ



間仕切りを閉めたところ

リフォームしてみても

T様より

生活上の困りごとを丁寧に話し合い、悩んだ時にはしっかりと寄り添い提案していただきました。「家」は形や構造だけではなく、心のよりどころという大切な居場所。昔の思い出と、これからの自分のため、落ち着いた生活が営める素敵なリフォームをしてくださり、大満足です。

case 4

K様邸

お庭まで視線が抜ける機能的なキッチン



【STORY】

20年程前にサンクに設計をご依頼いただいて新築した木造住宅。水廻り以外の壁は全面珪藻土、床は天然コルク、家具は造り付けというお家です。ご家族の形態や生活スタイルに合わせて、今回再びリフォームのご依頼をいただきました。天然素材の内装は暮らし心地よかったとのこと。内装の選択肢としてお勧めしたい材料です。

【設計の概要】

独立キッチンですがダイニングに目が届くように開口を設け、お庭も眺めることができるようになりました。L型レイアウトはそのままに、新たにビルトイン食洗器を付けました。カウンターは使い易いステンレス。コンロ側にオープンスペースを設け、ゴミ箱をすっきり収めました。



case 5

N様邸

レトロ感を残した機能充実の対面型キッチン



引き渡し時



充実した設備



現在の様子

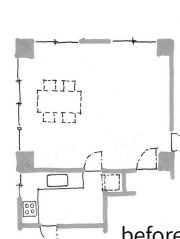
【設計の概要】

暗かった独立型キッチンの壁をとり、明るい対面型キッチンに変更。工夫を凝らした大きなL字型キッチンは作業スペースも収納もたっぷりです。必須だった大型食洗器とガスオープンで機能も充実。レトロなタイルは残し、後日取り付けいたウィングラスホルダーとともにお客様らしい雰囲気。

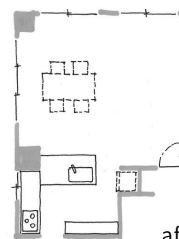
リフォームしてみても

N様より

ダイニングが見渡せるようになり、キッチンに居ながら家族とコミュニケーションがとれます。食べ盛りの子供がいるため、洗い物が多く、大きな食洗器を入れたのは大正解でした。オープン料理が手軽にできるガスオープン頻繁に使用しており、気に入っています。キッチン内の収納は全て引き出し型で、鍋、まな板、大きな食器なども取り出しやすくなりました。ダイニング側の収納は扉を開けると棚になっていて、お皿が沢山入り満足しています。グラスやマグカップなどは壁にグラスホルダーを取り付け、敢えて見せる収納にし、インテリア風になっています。



before



after

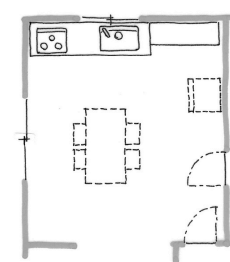
case 2

H様邸

ツートンカラーが我が家流ワイドたっぷりのキッチン

【設計の概要】

対面式も検討していましたが、LDKを広く使える横一列タイプを採用。吊戸棚の色とキッチンの色をあえて変え、インテリア性を持たせました。



リフォームしてみても

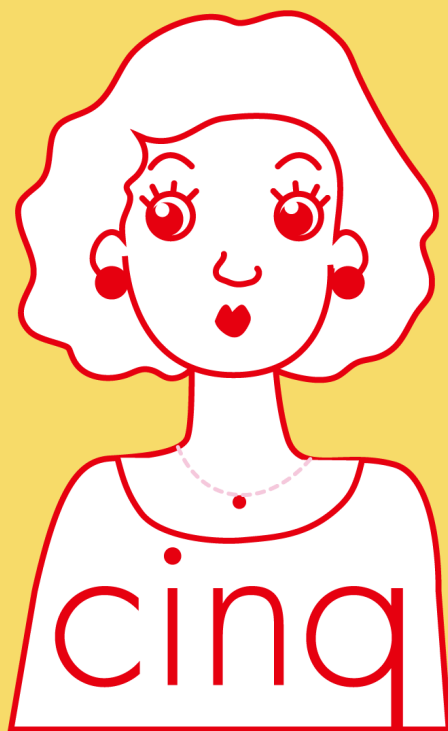
H様より

広さ十分で使いやすいキッチンです。白い天板は今のところ特に汚れ・傷はなく、全体の雰囲気とマッチして気に入ってます。収納は2人で暮らすには適度な量ですが、家族が多い方は別途収納があってもいいかもしれません。吊戸棚の色を床に合わせて明るい茶系にしたので、いい感じになったと思っています。



女性建築家とつくる リ・スタイル情報誌

Vol. 25



今、広報の中心になるのはSNSです。

サンクでもショップの新商品やイベントのお知らせをSNS経由で発信しており、多くの方にスマートフォンでご覧いただいています。

それが“小さな口コミ”のように広がり、お店を訪れてくださる方が増えました。

また、ホームページも自分たちで少しずつ整えているところです。

SNSも活用しながら、地域の皆様に親しまれる
生活デザイン設計室&インテリアショップを目指していきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

CONTENTS

- ・生き方×住まい [14]
「キッチンリフォーム特集」
- ・サンクカフェ/ サンクショップ

サンクカフェ CINQ CAFE

「あなたの住まいをどうしたい」



例1 くつろぎスペース ぽこ・あ・ぽこ

長年、親が暮らしていた都会の家と庭を、地域の人がほっとひと息つける“くつろぎの場”へ。建物の傷みも少なかったため、約2ヶ月の準備を経て1階部分のみ開放をスタートしました。



2階建ての空間は、ミニ講座や趣味などの活動の場として活用するほか、地域活動のあとに立ち寄れる“もう少ししゃべりたい場所”として活用。フィットネスクラブの帰り道、社協や区の講座、地元町会の活動の帰り道に、ふらりと寄れる居場所を目指しています。

シニア世代が多く、経験豊富な人材が集まる地域だからこそ、「どんなミニ講座がこの街に合うだろう？」と、今まさに企画を思案中です。緩やかに地縁をつなぎ、地域の温度を少しだけ上げること。それがぽこ・あ・ぽこの大切な役割です。

「生き方は、住まい方。」
サンクはこのコンセプトを軸に、女性の視点から住宅の設計とデザインに携わってきました。2年前からは「女性たちが住まいについて自由に語り合える場をつくりたい」という思いで、サンクカフェを立ち上げ、これまで5回開催してきました。話していくと、実家などの空き家問題が浮き彫りに。身近な遊休建物の活用をさまざまな角度から参加者の皆様と考えています。そんなワークショップで生まれたアイディアが形になり始めた例をご紹介します。

例2 ちょっと二拠点生活を楽しんでください

「少しのあいだ日常から離れて、自分を整えられる場所がほしい。」

そんな女性の声から生まれた“プチ家出”の叶う家。30年前に「老後はここで夫婦で暮らすかもしれない」と夢を込めて購入した、温泉の湧く伊豆の家。雑誌のような素敵な暮らしには程遠く、しばらく有休建物になっていましたが、2年をかけてDIYであちこちリフォーム。ようやく身体と心をリセットできる心地よい住まいへと生まれ変わりました。長めに滞在できる“もうひとつの拠点”として、ゆっくり呼吸を取り戻すための場所として活用を始めています。



サンクのHPにも掲載予定ですので楽しみに！



ライフスタイル
セレクトショップ

CINQ SHOP

住まいづくりや生活を楽しんでもらえるように創ったライフスタイルセレクトショップ。スタッフが生活者目線で「これがほしい！」と思うもの、使って良かったものを国内外を問わず探しセレクトしています。

● 新規取扱商品 ●



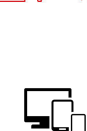
【LES TOILES DU SOLEIL】

展示会でご縁がありましたレ・トワール・デュ・ソレイユさん。フランス最南端の村で1860年に生まれた伝統織物ブランドです。生地を織るときにどうしても最後に余ってしまう糸を再利用した新商品のタッセルキーホルダーなどは時代のニーズをキャッチしていて、伝統を継承しながらも新しいことにも挑戦する姿勢が素敵です。



【ORIM】

こちらも展示会がきっかけでお付き合いが始まりましたオリムさん。日本の伝統技術を大切にしたい今治タオルなど質の高い織物を作られています。今治産綿100%マフラーは今シーズンサンクで爆発的のヒットとなりました。



0120-72-5039
www.cinq-sd.co.jp



生活デザイン設計室
株式会社 サンク

中野区上高田2-58-11 西山ガーデンハウス1階
Tel 03-5318-5039 Fax 03-5318-5040
AM10:00-PM18:00(日・祝休み)
info@cinq-sd.co.jp

